

星屑

Oct. '06

No. 379



金星と土星のランデブー

8月27日の夜明け前

41cm反射+

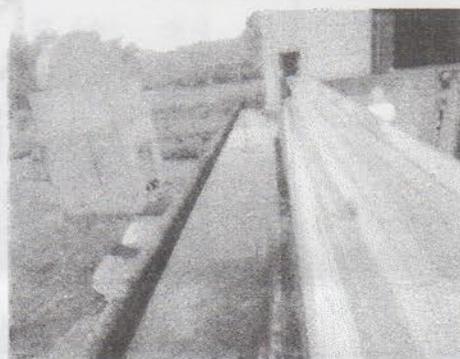
Cyber-shot P2

熊本県民天文台

夏休みの観望会、報告集

お盆過ぎから、連日夕方には激しい雷雨が！

2006.09.09 艶島



8/12 フィールドミュージアム

恒例のペルセウス座流星群観望会です。曇り空の下で始まりました。電子紙芝居で、流れ星の解説を行っているうち、幸い、20時頃から雲が消え、満天の星空に。天の川が見える絶好の条件になりました。せっかくの星空ですから、ビニールシートに寝転がって、楽な姿勢で見上げてもらうことにしました。すると、絶妙なタイミングで流星が!!

さらに、夏の大三角の中を明るいう流れ星が痕をひいて流れたり! 月が昇って空が明るくなってしまふまでの1時間ほどの間に、たいていの人が5~6個の流れ星を見たようです。初めて流星を見た人が多くて、みんな大喜びで家路につかれました。

イベントが終わったのは、22時過ぎ。それからトークアバウト。星屑印刷と発送準備。参加されたスタッフの皆様、お疲れ様でした!!

8/18 神園山荘での観望会(台風で延期)

8/19 コーファ熊本 環境委員会の観望会

台風一過、予定通り開催できました。一般の来台者を含めて50名くらいの参加でしょう。崇城大からも学生さん2名が応援に駆けつけて下さいました。

雲が多くて、どうなるかと思っていましたが、なんとか木星やアルタイル、アンタレス、M13などを見ることができました。光害についての学習も希望されていたので、「光害とは何か」の解説を行いました。「初めて光害について知った」「これからしっかり取り組みたい」という意見が出るなど、反響は良かったようです。

8/21 元気の宿かじか出張観望会

IOBスポーツ推進事業団という障害者の水泳体験などにとりくむNPOの主催。美里町(旧中央町)にある自然に囲まれた宿泊研修施設でのキャンプに、夜の部として一晩協力しているイベントです。今年で3回目です。30数名の参加者と、星空解説やクイズを楽しみました。



8/23 白川わくわくランドから来台観望会

プラネットタウンの川端さん夫妻の案内で、マイクロバス2台+乗用車数台子どもと指導者合わせて30名ほど。あいにく、夕方から雷がひどくて、周囲には稲妻が見える状況でした。落雷が怖くて、屋根を開けるわけにも行かないので、少しだけスライディングルーフを動かして見せたりしながら、望遠鏡と観測室を解説。あとは、1Fミーティングルームで電子紙芝居を使った解説でした。

最初から、たくさんの質問を頂いて、とてもスムーズに、楽しく、あっという間に終わりの時間になってしまいました! みんな、「晴れたらまた来たい!」と言ってくれましたし、「自由研究入門」の冊子にも、とても人気が集まりました。

8/25 ボーイスカウト熊本第19団

2~3年前にもおいでになったでしょうか、「解説が楽しかった」と今年も来台。出張観望会と重なったので、当番の運営委員と応援で対応していただきました。40名+他の一家族4名が参加、木星が見えて大喜び。

8/25 神園山荘での観望会

台風で延期になった観望会を1週遅れで開催しました。

神園山荘では雲が広がって星は見えず。代わりに、望遠鏡で遠くのネオンサインを見てもらいました。子ども達は「逆さに見える!」「でも、すぐはつきり見える!」「信じられん!!」とビックリしていました!

電子紙芝居での解説には、たくさんのリクエストがあって、あっという間に時間が来てしまいました。パーベキューでたっぷりエネルギー補給済みで、元気いっぱいの子供達と楽しい時間を過ごしたのですが、帰りが着いたら、疲れがドッと出ました。(マイクなしで頑張ったから・・・)

8/26 フィールドミュージアム

夕方は、猛烈な雷雨! それでも、「今夜はありますか? 曇りや雨でも解説してもらえますか?」という電話が、数本かかってきました。雷が収まらず、雨も止まないで「今日は、来台者がうんと少ないかも?」と思いながら準備。それでも、19時には最初のお客さんが到着!すぐに数組が来台されました。その頃から、雨が止み、雲が薄くなり出して、19時半頃には木星が見え始め、「木星観望」からイベント開始。一巡したところで1階へ移動、電子紙芝居で、「冥王星が惑星でなくなった」理由や背景など、最新的话题を丁寧に解説しました。

新聞に連載記事を書いています

熊日は9回の予定、読売にはたぶん年末まで 鮎島



「夜空への誘い」は、熊本の天文愛好者として知られる鮎島敬昭さんの力作です。熊本の天文愛好者として知られる鮎島敬昭さんの力作です。熊本の天文愛好者として知られる鮎島敬昭さんの力作です。

夜空への誘い

読売新聞 天文版
鮎島 敬昭

夏に明るい天の川

第1話

見えるのは銀河の中心側、冬は逆

夏に明るい天の川、冬に暗い天の川。天の川は、銀河の中心側を流れている。夏に明るい天の川、冬に暗い天の川。天の川は、銀河の中心側を流れている。夏に明るい天の川、冬に暗い天の川。天の川は、銀河の中心側を流れている。



人吉市山形町で撮影した夏の天の川。西方の地面に近い部分が明るく輝き、大きく膨らんでいる様子だが、何の明かりにも照らされて見えない。オーストラリアで撮った天の川は、この部分から上まで見ることができる。撮影＝鮎島敬昭

熊本県民天文台の活動は、意外なところでも注目を集めているようです。ユニークな活動内容が面白そうだ、解説内容を独自に工夫しているところが良い、大学生にまでデジカメ天体写真講座をやっているのが目をひいた、光害対策での環境問題への取り組みが斬新など、様々な分野からの問い合わせや連携したイベント開催の申込が相次いでいます。

今年春頃には、どういうわけか、相次いで熊日と読売(西部版)の2紙の記者さんからも、それぞれ、科学欄や科学エッセイ欄への執筆者を探しているという電話を受けました。

最初は、気軽に熊日さんの相談に乗り、自分の体験や天文台にやってくるお客さんの反応などに基づいて、天文記事の執筆テーマや解説のポイントを提案したりしていたのです。

ところが、「記者が執筆するから、アドバイスを」という当初の計画だったのに、いつの間にか「私が自分で執筆」ということになって、連載がスタートすることに決まってしまいました。どんな画像を使うかなど検討を始め、天文台のMLを通じて、画像提供のお願いも流したりしましたから、覚えている方もあるでしょう。

熊日では、毎週月曜日の科学欄に、3週連続で掲載しては1回休み+時々休刊日というテンポで掲載中です。9月11日(月)の掲載が連載の6回目に当たります。9回連載の予定。

書いているうちにいろいろ勉強

これが率直な感想です。

星屑にはしょっちゅう記事を書いているし、いくつかの雑誌や理科教育関連でも執筆の経験はありますが、今回の「科学記事を書く」という体験はまたとない経験でした。何を、どんなふうに、どんな視点で書くか・・・新聞記者は、普段どんなことを考えながら記事を書いているか、など、打合せや原稿の改訂作業を通じて、たくさんの方の事を学ばせて頂いています。もし、皆さん方も記事を読む機会がありましたら、ぜひ率直な感想を聞かせて下さい。この経験を、これからの天文解説にも生かしていこうと思っています。

☆北天竺紀行（その7）☆

白鳥

さてさて、なにやら怒鳴っている奴と静かになった運転手の間で単調なエンジン音を聞くうちにいけないことだと思いがらうとうと眠くなってきた。いや、いけない。いけない。。。とうとう睡魔には勝てずに寝てしまう。すこしうとうとしてははっと正気に戻る。そんなことを後ろの座席で繰り返しているのに気づいていたのか気づかなかったんだろうな。単調なインドの街をいくつか通り過ぎたところで助手席の男は何事もなかったかのように車から降りてたちさって行ってしまった。簡単な会釈をただけ。なんの礼もなく当然のこのように。

「やれやれ。行ってくれた」急に運転手が饒舌になった。おいおいその舌はこれまでどこに置いていたんだ？そう聞いてやりたくなるほどに。「なんだ。おまえの知り合いじゃないのか」「いや違う。警察官だよ。まちがっても警察と『お友達』になんてなりたくない」まあ、それは。。。わかる。商売上からも、あんなのが警察だというのでもいやだよな。それにしても警察にしては行儀の悪い奴だった。

また、安心感からか眠くなってきた。まあ、安心してなくても眠いが。目が覚めると急にわりと大きな街が視界に広がってきた。これまでのような、見渡せば一瞥できるような街ではない。よく整備されているとはいえないが、谷の間に広がるパザール。どこかフランスの修道院でも見たような宗教施設の門前町を連想させる荘厳な雰囲気さえ漂わせた世界。これはアンペール城の城下町と直感で思わせた。右側には巨大な城が広がっている。しかし、すごい勢いで車は走り抜けようとしている。「ま、ま、待ってくれ。少し寄っていこう」そう叫びたくなるのをグッと抑えた。ここで、興味を示したらさらにこいつとつきあわされる。とりあえずは、ここは我慢だ。とにかくこいつとの縁を絶ちきろう。興味のないふりを決め込んでいることにする。丘を超えると、そこには広々とした平野が広がり、長浜のような街と琵琶湖のような湖に出た。湖の中には宮殿が建てられている。なんと豪華な造りだろう。マハラジャの建物か。まるで湖に浮いているようだ。しかし、そこへ行くにはどうしているんだろう。みたところ宮殿への道は見あたらない。

運転手にジャイプールに着いたのかときくと、「そうだ」と返事が返ってきた。

14時過ぎ、5時間位乗っていたのか、何とも長い旅だった。

「どこで降ろせばいいんだ？」そういえばそんなことは考えてなかった。「まあ、街の中心がいいな」。街の郊外で降りてうろうろすると危険だろうと判断した。とりあえずは人混みの中に逃げてしまえば、車は追って来れない。東京の新宿や渋谷で育んできた智恵だ。それに、人の多いところでいきなり刺されることはないだろう。まあ、最近の都会ではそんな法則は当てはまらなくなってきたようだが。

そろそろ終着が近づいてきたためか運転手はますます磨きがかかって能弁にしゃべり始めてきた。

「明日はどこに行くんだ？」(そんなことおまえの知ったことじゃないだろう)「おれは明日も暇だ」(ああそうかい)「明日も観光案内をしてやるぞ」(いや、もういいよ)いちいち答えるのも面倒なくらい盛んに自分を売り込んでくる。どうも日本人はこういったことが苦手なようで、さらに売り込まれるのも苦手なようでなんと答えるか返答に困る。まさか本心と言うわけにもいかないし。「考えておくよ」ただ、これを繰り返すだけ。まあ、相手にしてみればそうだろう。インドの物価は知らないが、どうも見ているとガソリン代は日本と大差がないようだ。ニューデリーからジャイプールまで時間で5時間超、距離で300kmといったところか。いくらインドの物価が安くても帰りに客を乗せずに帰れば下手すれば赤だろう。まして日本人という金蔓を手放したくないのだろう。

しかし、相手が悪かった。なんせ、こちとらこうと決めたらテコでも動かない東北人のDNAを受け継いでいるだから。なにを言っても馬耳東風。

それやこれやと言ううちに人間が増えていきはじめる。もはや、街の雑踏の中で車の速度も落ちてきた。これなら飛び出てもたいしたことはなさそうだ。鞆から地図を出して町並みの様子から逃げる検討を始める。そろそろ中心部のシティパレスの一角らしきものが見えてきた。運転手はますます焦って早口になってくる。そろそろ降りる頃かな。「悪い。あまり英語は得意じゃないんだ。用件があるなら日本語でしてくれない？」それまで、英語で受け答えをしていたものをピシヤリと言い放つ。

「おれはランチもとったんだぞ」「それはお前の勝手だろう。おれはランチなんか食べてないよ。お前にランチ代を払う約束はしてないよ」「俺はお前をここまで連れてくるのに2回ガソリンを入れたぞ」「それは契約金の中にはいっているものだろう。不足があるのならボスに請求したら」もはや、日印友好など考えていない。相手はなんとか日本人から金を取ろうとするのでそれを拒む。これはちががあかないと判断したか黙ってしまった。

「それじゃ、アディオス」なぜか最後はスペイン語だった。そう言い残すと、雑踏の中にさうと入り込んでしまう。近くでうろろしていると追ってくるかもしれない。人混みの中を早足で進んで、ちらりと来た方向を見るとまだ車はその場にいた。まあ、立ち去るだろう。そう思っていると車は発進してどこかへ行ってしまった。やれやれ。ほっとして考えた。「今日はどこに泊まろう」(なにも考えてなかった) (続く)

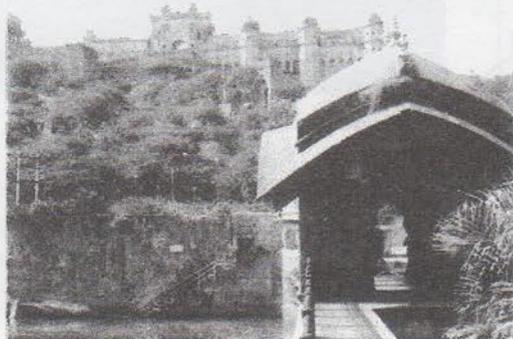


図1 アンペール城



図2 象もよく見かけました

☆☆☆ ちょっと一服

Poem & Illustration

すでに初秋は過ぎ、もう中秋だと言うのですが・・・やっぱり、日中は暑いですね。とは言え、朝夕はかなり涼しく過ごしやすくなりました。熱帯夜とお別れと思うと嬉しいんですが、望遠鏡が露でびしょびしょになるのが、ちょっと・・・

最近、なかなか満天の星空を見られずにいますが、星座はもう夏から秋へと交代する季節。北斗七星とカシオペアと一緒に空に見られるのもなかなか面白い風景です。(広すぎて撮れはしませんけどね)

木星もすっかり西に低くなり、あっという間に沈んでしまいます。しばらくは惑星なしの星空で、寂しくなりそう・・・



シーソー

ゆうぐれ

西に傾きかけた一番星に 呼ばれたような気がして

こねこは

小さく ミーィ と返事した

高い日差しを浴びて遊んでいたニンゲンたちは

帰り支度を始めたところなのに

逆走してやってくるニンゲンも いる

天文台の屋根が開くと

空はみるみる暗くなり

星たちが顔を覗かせはじめ

あ かわいい こねこ

ちいさなニンゲンがうれしそうに言うので

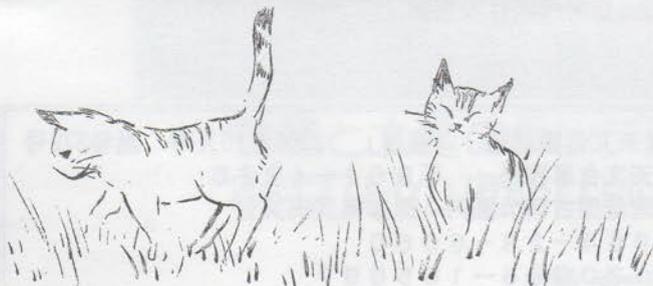
こねこは

小さく ミーィ と挨拶した

北の空で北斗七星とカシオペアが

シーソーしている

どちらに傾くかは もう すでに決まっているのだけれど



By Dio

まだまだ暑い熊本ですが、それでも夜には涼しくなり、虫の音も聞こえて来ましたね。今年には夕立が多くて、天文現象がなかなか見られなかった私ですが、皆様は如何だったでしょうか。流れ星も沢山流れたよーとか、金星と土星の接近は凄かったとか、聞いた話は沢山あるんですけど…。8日の部分月食は是非見たいと思っているんですけどね…。

☆☆☆ 18年度の会費納入をお願い致します ☆☆☆

☆10月の天文現象&行事☆

- 2日(月) おひつじ座Rが極大(7.4~13.7等)
- 6日(金) 中秋の名月
- 7日(土) 満月(12:13)
- 8日(日) りゅう座γ流星群(ジャコビニ流星群)が極大
寒露(かんろ…秋涼増長し、寒くなり露を結ぶという意味)
- 12日(木) おうし座β星(1.8等)の星食(南九州以南で見られる 福岡最接近 07:07)
- 14日(土) 下弦(09:26)
トークアウト(天文台にて 20:00~ 変更の場合もあります)
- 15日(日) さんかく座Rが極大(5.4~12.6等)
- 17日(火) おひつじ座Uが極大(7.2~15.2等)
水星が東方最大離角(24°49.2' 0.0等 視直径06.7")
- 21日(土) オリオン座流星群が極大 ヘルクレス座Tが極大(6.8~13.7等)
- 22日(日) 新月(14:14) ヘびつかい座Rが極大(7.0~13.8等)
- 23日(月) 霜降(そうこう…露は霜と化して草木の葉は黄変するという意味)
- 24日(火) 火星が合(1.6等 視直径03.6" 02:31) わし座Rが極大(5.8~12.4等)
- 26日(木) 金星が外合(-3.9等 視直径09.7" 16:18)
- 29日(日) 112P/Urata-Nijima彗星が近日点通過
- 30日(月) 上弦(06:25)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2006年10月号 通巻379号
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
TEL 0964-28-6060
振替口座 01700-5-105697
NPO熊本県民天文台事務局
ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>
メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige@kcaohige.com 中島まで